

キーワード



難聴

シスプラチン

薬剤性難聴

Hearing loss



公式サイト

薬剤性難聴モデル

シスプラチンの副作用による難聴モデルを用い、ABR（聴性脳幹反応）検査によって、対象薬の難聴に対する抑制効果を検討いたします。

試験方法

使用動物：マウス CBA/J

誘発方法：シスプラチンの反復投与（腹腔内投与）

日程(例)：【4日間連日のシスプラチン投与+10日間の休薬期間】を3回
(シスプラチンの投与は調整可能)

評価・結果

評価方法：ABR検査（シスプラチン投与前、休薬1回目、2回目、3回目）

